



《東京都中学校長会》

平成31年 2月

## 2月 会長だより

会長 小澤 雅人

### 1 挨拶

立春の日に本校の朝礼があり、我が国の暦や年中行事と伝統的文化との関りについて話をしました。また、欧米諸国の年中行事と日々の生活や国際理解にも広げてみました。現在、都内で推し進められているオリンピック・パラリンピック教育の一環として、国際理解教育の推進を各学校で行っていると思います。本校でも、スポーツマインドの醸成とともに、国際理解教育として我が国伝統文化の体験学習を行っています。来年に迫った2020東京オリンピック・パラリンピックの成功に向け、さらなる充実を願っています。

月日の経過を早いと感じるのは、NHKの『チョコちゃんに叱られる』によると、“年を取るとときめきを感じなくなるから”時の経過を早く感じるのだそうです。日々の生活をルーティーンのように過ごしてしまい、様々な小さな出来事にも心が動かなくなることが原因だそうです。そうは言っても、学校評価や次年度の教育課程の編成、教職員との自己申告面接、3年生の面接練習や進路関係の点検など、お忙しい日々を過ごされているのではないかと思います。特に、今年度のインフルエンザの流行は、移動教室や進路選択にも大きな影響を与え、生徒や教職員の安全・健康管理に気を遣われたことでしょうか。時間に追われながらの毎日ではあっても、ちょっとした変化や気付きに心を動かすことができる目、心の琴線、捉えていく感覚はもち続けたいと思っています。

2月3日に「東京都中学校駅伝大会」が行われました。この大会も早10回目を数え、大きな盛り上がりをもってきています。しかしながら、今秋のラグビーワールドカップや来年の2020東京オリンピック・パラリンピックのための改修工事で競技場が使用できなかったことは、参加した生徒には残念だったと思います。また、各地区の体育科の先生方をはじめ、養護教諭の皆様、さらには、各学校及び各地区教育委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。当日は、インフルエンザのために選手の参加にも影響が出たようで、あらためて、駅伝大会の運営等にご尽力いただいた方々に御礼申し上げます。

### 2 当面の課題

#### (1) 都立高等学校入学者選抜に関わる内容について

##### ① 都立高等学校入学者選抜関係書類の不備の根絶をめざして

本会進路対策委員会より、都立高等学校入学者推薦選抜出順に向けた願書・調査書・推薦書等の不備を防ぐための資料が配布されています。こうした資料を今後も活用し、学力検査における出願ではミス無くしていきたいと思います。第3学年の先生方にも注意喚起するとともに、管理職自らも公印を押す段階で必ずチェックを行い、書類の不備を無くすようご協力をお願いします。

##### ② 新たなタイプの高等学校等への進路選択に関わる内容

本会が行っている都立高等学校第1希望調査に付帯して、都立高等学校以外を希望する生徒の状況把握に関し、近年希望者の増加傾向にある都外通信制高校について、山本 聖志

全日中会長にも国レベルでの情報共有が行えないか、申し入れをしました。今後、本会地区代表者会等でも情報交換を行っていきたいと考えています

## (2) 平成 31 年度の東京都中学校長会組織編制に向けて

1 月下旬から次年度の本会組織の検討に着手しています。各部の部長・副部長については、作業が進んでいます。各委員会の活動内容も、専門的なものが多く経験が必要な仕事となっていますので、今年度から本会の規約を改正して、委員長も部長・副部長と同様に会長が指名し、総会で承認を得ることになりました。平成 31 年度も会員の皆様の本会活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。

## 3 連絡・報告事

### (1) 全日本中学校長会第 3 回理事会について

1 月 25 日(金)に標記の理事会が開催されました。当日は、私が自校の移動教室の引率と重なったため、府中市立府中第五中学校長の酒井 泰 副会長に代理として出席していただきました。

### (2) 平成 31 年度東京都教育庁の新規事業について

1 月 25 日(金)に「平成 31 年度東京都教育庁所管予算案 内示状況説明会」があり、石村会計部長、山浦会計部副部長、覚張事務局長に出席していただきました。そこで示された新規事業等の一部を紹介します。

- 都立高等学校入学者選抜における 4 技能評価の導入に向けた本格実施を想定したプレテストの実施
- 部活動指導員の活用の推進⇒中学校で 515 人へ
- 生徒が 2020 オリンピック・パラリンピック東京大会を直接観戦できるためのチケット購入⇒総数約 100 万枚(予定)
- 中学校特別支援教室導入地区への巡回発達心理士等の配置支援
- 猛暑対策としての体育館空調施設設置への支援
- 学年主任、進路指導主任等の授業時数を軽減するモデル事業の実施⇒中学校 160 校程度

### (3) “明日の TOKYO” 作文コンクール表彰式について

去る 1 月 16 日(水)に“明日の TOKYO” 作文コンクールの講評会、表彰式に出席してきました。この作文コンクールは、一般財団法人東京都人材支援事業団が毎年実施しており、今年で 27 回目を迎えました。今回は「スポーツの力」をテーマに、生徒が自らの体験を基にスポーツを通じた未来への夢や東京づくりに取り組む姿勢について、貴重な意見が記されていました。今年度は約 5,000 の応募があり、私は審査を通して、大変心強い思いがしました。それは、活動を通して中学生が、人と人との関わりの大切さを感じ取る豊かな感性、読み手を引きつける表現力、自分の体験をさらに深めようとする行動力など、心を打たれることばかりだったということです。表彰式は文京シビックホールで行われ、受賞者は満員の観衆の中で表彰されるという晴れやかな式でした。式に続き受賞の記念として、モーツァルトの歌曲「魔笛」の演奏が行われるという、大変すばらしい表彰式でした。こうした経験を、できるだけ多くの中学生にさせたいと願っています。

### (4) 都教育庁人事部との情報交換会及び都教育庁指導部と小中学校長会合同連絡会について

2 月 7 日(木)に、都教育庁人事部との情報交換会が開かれ、平成 31 年度より 2 年間のモデル事業として必置主任の時数軽減施策等をはじめ、人事関係の意見交換を行いました。

2 月 13 日(水)には、都教育庁指導部との都小学校長会との合同の連絡会を行いました。英語科の指導に関する小中学校それぞれの課題等をはじめ様々な意見交換を行いました。